

発売中  
100円

憲法9条を変えて、  
「戦争する自衛隊」にして  
いいのですか(憲法会議・発行)

# 中学生10人に1人が隠れ不登校

日本財団  
実態調査

## 不登校の子どもの学ぶ機会をいかに保障するか

日隈市議は9月12日、不登校傾向にある中学生(隠れ不登校)が10人に1人いると発表した日本財団の実態調査を紹介。不登校の子どもの学ぶ機会をいかに保障するか、質問しました。

日隈市議は「不登校、不登校傾向にある児童生徒の人数は、過去5年間でどのように変化しているか」と質問。教育長は「年間30日以上登校しない児童生徒は平成26年度(2015)からの4年間は50人台。不登校傾向にある児童生徒について文科省から明確な定

### 小中学校の不登校(日田市)

年度	人数
2014	78
2015	56
2016	57
2017	53
2018	52

「不登校の子どもの学ぶ機会を保障する支援は、どのように取り組まれているか」と質問。教育長は「教室に入れなかったり、教室で長い時間を過ごせなかったりする子どもに、空き教室や保健室、図書室など校内に居場所をつくり、心を落ち着かせて自分のペースで学習にとりくめるようにしている」と答えました。その他、自宅に訪問して心のケア、教育センター内のやまびこ学級での取り組み

みをを説明しました。日隈市議は、昨年、市議会教育福祉委員会が、不登校特例校の分教室型として設置した調布市立第七中学校「はしうち教室」を調査したことを紹介。「不登校特例校の分教室型や校内フリースクールを設置など、検討する考えはないか」と質問。教育長は「特例校は全国で小中高を含めて12校。まだ数が少ないので、今後、調査研究したい」と答えました。「教育機会確保法」に基づき、文科省は「基本指針」を定めています。この中で、「特例校」の設置を促進するとしています。不登校傾向にある子どもの学ぶ機会を、さらに保障する必要があります。

# イノシシが生活道路を壊す被害

9月議会  
一般質問

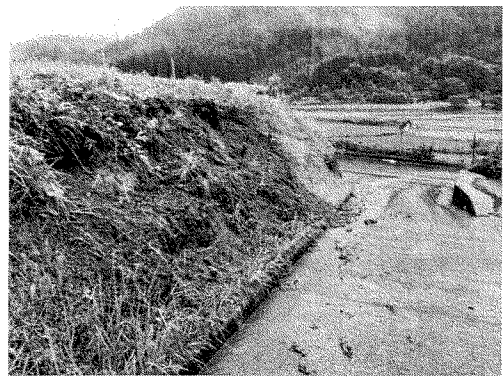
## 被害防止対策が必要

日隈市議は9月12日、「イノシシによる被害は、農林産物被害にとどまらず、生活道路ののり面を壊すなど、生活環境の被害も出ている」と指摘。被害防止の支援を求めました。

農林振興部長は「道路ののり面崩壊や落石の被害を与えるイノシシ対策は、農地などを対象とする防護柵設置の事業には該当しない。そこで、有害鳥獣捕獲班に捕

獲を行っていただき、被害の軽減につなげる」と答えました。大分県が行う「野生鳥獣による農林水産物被害対策の軽減に向けた研修会」の案内文書には、「特に、イノシシは捕獲だけで被害を減らすことは困難」と説明しています。

日隈市議は「集落環境対策、予防対策、捕獲対策の3つを効果的に取り組む集落を増やすことが重要だ」と指摘。農林振興部長は「防護柵設置に取り組む地区には、3つの取り組みの重要性を伝えていく」と答えました。



▲イノシシが道路ののり面を壊す(天瀬町本城、7月14日撮影)

## 委託から3カ月 市民とまどい

上下水道窓口  
民間委託

日田市の上下水道料金の窓口業務は、7月から民間業者が市の委託を受けて行っています。大谷市議は昨年12月議会「窓口業務には、給水停止などの滞納整理を含む。トラブルが懸念される」と指摘しています。そのとき担当課は「徴収業務の委託は、特別に珍しいものではない」と答えています。しかし、9月、日隈市議は、水道料金の支払いが遅れている市民から相談を受け、窓口対応の改善を市に求めました。担当課は「すぐに改善する」と答えています。お困りの方は、日本共産党市議団にご相談ください。